

スーパースマイル

2012年夏号 (vol.70) くしま矯正歯科通信
545-0011 大阪市阿倍野区昭和町1-21-22 徳山ビル4F
TEL 06-6628-8148 FAX 06-6627-0878
info@kushima-ortho.jp <http://www.kushima-ortho.com>

この6月には近畿東海矯正歯科学会と、続いてあった日本矯正インプラント研究会に院長と副院長が出席し、多くの新しい知識を増やすことが出来ました。それにともなって齲蝕検知器のダイアグノデントペンと矯正インプラントに用いる新たな器械を購入しました。

くしま矯正歯科での1か月の研修を終えるにあたって

中国 大連大学付属病院 大連市口腔医院 小児歯科 紀 えい

歯科医師になって12年目ですが、矯正のことを、このような形で学ぶのは今回初めてでした。

わからないことばかりで不安でしたが、くしま矯正歯科には矯正資料や参考書などがたくさんあり、先生方にも丁寧に教えていただき、多くの知識を得ることができました。新しい治療法と技術で矯正専門治療を行っておられ、こちらで勉強できたことは、とても幸せなことだったと思っています。

くしま矯正歯科では不正咬合が起こらないように、小児歯科治療にも咬合育成を考慮に入れて治療を行っています。新しい考え方で、とても勉強になりました。

中国では一人っ子政策また実施されているので、小児期の虫歯予防と不正咬合予防はさらに重視されてくると思います。こちらで研修したことを生かして、中国の子供達のために頑張っていきたいと思っています。

くしま矯正歯科の皆様のご健勝とご発展を心よりお祈りいたします。本当にありがとうございました。



新しくダイアグノデントペンを購入しました

明らかに大きな齲蝕の場合とはもかく 初期の虫歯（齲蝕）の場合 それを削って詰めるか あるいは詰めないで経過を見るかの判定には 視診と触診 それにレントゲンなどで判定していました。そのため 表面からはっきりし

た齲蝕と考えなくても中で深く進行していたり、逆に 黒くて深い虫歯に見えても 削ったらそう深くないこともありました。
そこで**ダイアグノデントペン**を購入しました。体に影響のないレーザー-を使って数値で虫歯の深さや程度を把握しますので、レントゲンを探ることなくまた矯正装置（バンド）が入っていてレントゲンではわかりにくい場合などにも虫歯の大きさや進行程度を客観的に検査できることが出来ます。



スタッフの歓送迎会をしました



この度 11年ほどいた受付助手の吾郷昌子さんと、2年余りいた歯科衛生士の中村智子さんが それぞれ退職することになりました。
また中国から臨床見学に1カ月来ていた紀先生も7月初めに帰国します。
そこで 彼女らの送別会と 新たに5月から勤務している受付・歯科助手の山口良子さんと 廣 華那絵さんの歓迎会を行いました。